

The 40th Annual Scientific Meeting of
the Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics

特別プログラム

会長講演

海外特別講演

特別講演

教育講演

会長企画シンポジウム

シンポジウム

ミニワークショップ

ワークショップ

特別プログラム

PL 会長講演

第1会場 (京王プラザホテル 本館 5F コンコード AB)

PL 精神科薬物治療の現状

抄録頁 S106

12月5日(木) 11:00~11:50

座長: 小林 真一 (昭和大学臨床薬理研究所)

演者: 下田 和孝 (第40回日本臨床薬理学会学術総会会長/獨協医科大学精神神経医学講座)

II 海外特別講演

第1会場 (京王プラザホテル 本館 5F コンコード AB)

II Development of pharmacogenomics during 40 years
—CYP2D6 and CYP2C19 as examples

抄録頁 S107

12月4日(水) 16:00~16:50

座長: 下田 和孝 (獨協医科大学精神神経医学講座)

演者: Leif Bertilsson (Clinical Pharmacology at Karolinska Institutet, Karolinska University Hospital, Stockholm, Sweden)

SL1 特別講演 1

第1会場 (京王プラザホテル 本館 5F コンコード AB)

SL1 ガンゲノム医療における Precision Medicine の現状と課題

抄録頁 S108

12月5日(木) 10:00~10:50

座長: 古田 隆久 (浜松医科大学臨床研究管理センター)

演者: 安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

SL2 特別講演 2

第4会場 (京王プラザホテル 本館 4F 花 B)

SL2 Pharmacogenomic study of antipsychotic medicines treatment in schizophrenia of Chinese Han population

抄録頁 S109

12月5日(木) 10:00~10:50

座長: 下田 和孝 (獨協医科大学精神神経医学講座)

演者: Weihua Yue (Peking University Sixth Hospital (Institute of Mental Health), Beijing, China)

EL 教育講演

EL1 免疫チェックポイント阻害薬とその副作用マネジメント

抄録頁 S110

12月4日(水) 10:50~11:40 第1会場 (京王プラザホテル 本館 5F コンコード AB)

座長: 安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

演者: 満間 綾子 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

- EL2 研究者主導型臨床研究のデザインの基本と臨床薬理学** 抄録頁 S111
 12月4日(水) 10:50~11:40 第2会場(京王プラザホテル 本館5F コンコードC)
 座長: 西尾 信一郎(聖隷袋井市民病院)
 演者: 植田 真一郎(琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)
- EL3 医療への患者参画** 抄録頁 S112
 12月4日(水) 10:50~11:40 第3会場(京王プラザホテル 本館4F 花A)
 座長: 佐藤 淳子((独)医薬品医療機器総合機構)
 演者: 山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML)
- EL4 iPS 心筋を用いた疾患解明・創薬研究の現状と展望** 抄録頁 S113
 12月4日(水) 10:50~11:40 第4会場(京王プラザホテル 本館4F 花B)
 座長: 藤尾 慈(大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学分野)
 演者: 李 鍾國(大阪大学大学院医学系研究科心血管再生医学共同研究講座)
- EL5 薬物相互作用ガイドラインの改訂と相互作用の定量的評価** 抄録頁 S114
 12月4日(水) 10:50~11:40 第5会場(京王プラザホテル 本館4F 花C)
 座長: 梅村 和夫(浜松医科大学薬理学講座)
 演者: 伊藤 清美(武蔵野大学薬学部)
- EL6 これからのビッグデータ活用と臨床研究** 抄録頁 S115
 12月4日(水) 10:50~11:40 第6会場(京王プラザホテル 本館4F 花D)
 座長: 細野 浩之(帝京大学医学部附属病院)
 演者: 奥野 恭史(京都大学大学院医学研究科ビッグデータ医科学分野)
- EL7 基礎からわかる薬理ゲノミクス** 抄録頁 S116
 12月4日(水) 10:50~11:40 第7会場(京王プラザホテル 本館42F 富士)
 座長: 今村 知世(昭和大学先端がん治療研究所)
 演者: 蒔田 泰誠(理化学研究所生命医科学研究センター)
- EL8 医療品開発と適正使用のためのシステム治療学** 抄録頁 S117
 12月4日(水) 10:50~11:40 第8会場(京王プラザホテル 本館42F 高尾)
 座長: 本間 真人(筑波大学医学医療系臨床薬剤学)
 演者: 鈴木 洋史(東京大学医学部附属病院薬剤部)
- EL9 がんゲノム医療: 遺伝子パネル検査とがんゲノム情報管理センター(C-CAT)** 抄録頁 S118
 12月5日(木) 9:00~9:50 第1会場(京王プラザホテル 本館5F コンコードAB)
 座長: 濱田 哲暢(国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野)
 演者: 河野 隆志(国立がん研究センター・研究所・ゲノム生物学研究分野/国立がん研究センター・
 先端医療開発センター・ゲノム TR 分野/国立がん研究センター・
 がんゲノム情報管理センター・情報利活用戦略室)

特別プログラム

- EL10 臨床研究法の目指すもの** 抄録頁 S119
 12月5日(木) 9:00~9:50 第2会場(京王プラザホテル 本館5F コンコードC)
 座長:古田 隆久(浜松医科大学臨床研究管理センター)
 演者:吉田 淳(厚生労働省医政局研究開発振興課治験推進室)
- EL11 免疫疾患における分子標的療法 ~JAK 阻害薬を中心に~** 抄録頁 S120
 12月5日(木) 9:00~9:50 第3会場(京王プラザホテル 本館4F 花A)
 座長:川合 真一(東邦大学医学部炎症・疼痛制御学講座)
 演者:山岡 邦宏(北里大学医学部膠原病・感染内科学)
- EL12 個別化薬物治療への薬物動態情報の適用に向けての試行錯誤** 抄録頁 S121
 12月5日(木) 9:00~9:50 第4会場(京王プラザホテル 本館4F 花B)
 座長:藤田 朋恵(獨協医科大学薬理学講座)
 演者:緒方 宏泰(明治薬科大学(名誉教授))
- EL13 「次世代医療基盤法」の取組と今後の展望** 抄録頁 S122
 12月5日(木) 9:00~9:50 第5会場(京王プラザホテル 本館4F 花C)
 座長:岩崎 幸司(大阪大学医学部附属病院臨床研究センター)
 演者:吉井 史歩(内閣府日本医療研究開発機構・医療情報基盤担当室)
- EL14 急性骨髄性白血病 新規薬剤による新時代の幕開け** 抄録頁 S123
 12月5日(木) 9:00~9:50 第6会場(京王プラザホテル 本館4F 花D)
 座長:山内 高弘(福井大学血液・腫瘍内科)
 演者:細野 奈穂子(福井大学血液・腫瘍内科)
- EL15 精神科領域のPK-PD: population PK の基礎と応用** 抄録頁 S124
 12月5日(木) 9:00~9:50 第7会場(京王プラザホテル 本館42F 富士)
 座長:赤真 秀人(CSL ベーリング株式会社 R&D)
 演者:猿渡 淳二(熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学講座)
- EL16 次世代バイオロジクスとしてのペプチド創薬・治療ワクチン** 抄録頁 S125
 12月5日(木) 9:00~9:50 第8会場(京王プラザホテル 本館42F 高尾)
 座長:勝谷 友宏(勝谷医院)
 演者:中神 啓徳(大阪大学大学院医学系研究科)
- EL17 グローバル Phase I 試験でパイロットした日本初の訪問型治験** 抄録頁 S126
 12月5日(木) 10:00~10:50 第5会場(京王プラザホテル 本館4F 花C)
 座長:長嶋 浩貴(東京センタークリニック)
 演者:中野 真子(ノバルティスファーマ株式会社開発本部)

PS 会長企画シンポジウム

第4会場 (京王プラザホテル 本館4F 花B)

PS 国際共同研究における研究倫理の新潮流：「ヘルシンキ宣言」—新たな潮流と直面する課題／
国際共同健康関連研究に関する倫理の過去，現在，未来 抄録頁 S127-S128

12月4日(水) 13:00~15:00

座長：下田 和孝 (獨協医科大学精神神経医学講座)
渡邊 裕司 (浜松医科大学 (理事・副学長))

- PS-1 Opening Remarks (趣旨説明)：「ヘルシンキ宣言」「CIOMS 指針」「ICH リノベーション」と研究倫理の新潮流
栗原 千絵子 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)
- PS-2 International collaborative research and new trends of research ethics
Otmar Kloiber (Secretary General, World Medical Association, Inc.)
- PS-3 The past, present and future of ethics of international health research as a stepping-stone to universal public health care access
Dirceu Greco (School of Medicine, Federal University of Minas Gerais, Belo Horizonte, Brazil)

S シンポジウム

S1 ファーマコメトリクスのさらなる展開 —Further Step of Pharmacometrics— 抄録頁 S129-S131

12月4日(水) 8:40~10:40 第1会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードAB)

座長：貝原 徳紀 (日本イーライリリー株式会社)
家入 一郎 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

- S1-1 Pharmacometrics —さらなる飛躍を求め—
谷河 賞彦 (バイエル薬品研究開発本部オンコロジー開発)
- S1-2 レギュラトリーサイエンスにおけるファーマコメトリクス解析の新しい動向と効率化の実現
長谷川 真裕美 (サターラ合同会社ストラテジックコンサルティング部門)
- S1-3 小児領域における Model-Informed Drug Development の現状と今後の展望
井手 貴文 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社)
- S1-4 ファーマコメトリクスの将来像 —内挿から外挿へ?—
長谷川 千尋 (MSD 株式会社グローバル研究開発本部クリニカルリサーチ領域)
- S1-5 医薬品開発・医薬品適正使用における Model-based meta-analysis の活用
柏原 祐志 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

S2 腫瘍循環器学 (Cardio-Oncology/Onco-Cardiology)：学際領域における
エビデンス作りの現状と課題 抄録頁 S132-S135

12月4日(水) 8:40~10:40 第2会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードC)

座長：安藤 正志 (愛知県がんセンター薬物療法部)
野出 孝一 (佐賀大学医学部循環器内科)

- S2-1 腫瘍循環器学への期待 —AYA 世代がんの長期予後のさらなる改善に向けて
清水 千佳子 (国立国際医療研究センター病院がん総合診療センター)

特別プログラム

- S2-2 腫瘍循環器学の進歩と心不全
赤澤 宏 (東京大学大学院医学系研究科循環器内科学)
- S2-3 がん和不整脈
庄司 正昭 (国立がん研究センター中央病院総合内科・循環器内科)
- S2-4 腫瘍循環器学の進歩と血管障害および血栓塞栓症について
志賀 太郎 (がん研有明病院腫瘍循環器・循環器内科)
- S2-5 腫瘍循環器学への期待 —PMDA の立場から—
高橋 秀明 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第五部)
- S2-6 腫瘍循環器学への期待 —AMED の立場から—
塩川 智規 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構)

S3 女性医師と臨床薬理学 (学術委員会企画・日本医師会補助金プログラム)

抄録頁 S136-S137

12月4日(水) 8:40~10:40 第3会場 (京王プラザホテル 本館 4F 花A)

座長: 蓮沼 智子 (北里大学北里研究所病院研究部臨床試験センター)
安藤 仁 (金沢大学医薬保健研究域医学系細胞分子機能学)

- S3-1 Crossing borders, beyond boundaries
坂中 千恵 (バイエル薬品株式会社研究開発本部)
- S3-2 性別にかかわらず活躍できる臨床薬理学の魅力
肥田 典子 (昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門/昭和大学臨床薬理研究所)
- S3-3 臨床医の立場から: 臨床薬理学との関わり
山出 美穂子 (浜松医科大学医学部附属病院内科学第一/消化器内科)

S4 臨床研究のススメ: 多職種の視点を活かした臨床研究 (学術委員会企画)

抄録頁 S138-S140

12月4日(水) 8:40~10:40 第4会場 (京王プラザホテル 本館 4F 花B)

座長: 植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)
稲吉 美由紀 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター)

- S4-1 プライマリケア医と臨床研究
石坂 真梨子 (沖縄県立八重山病院附属小浜診療所/琉球大学医学研究科臨床研究教育管理理学講座)
- S4-2 クリニカルクエスションに基づいた臨床研究 ~薬剤師~
文 靖子 (国立成育医療研究センター薬剤部)
- S4-3 臨床研究支援者が行うクリニカルクエスションに基づいた臨床研究
—CQをRQに変換するプロセス—
迫田 実香 (大阪大学国際医工情報センター慢性心不全総合治療学共同研究部門)
- S4-4 監査の立場から臨床研究を支援して
早坂 幸子 (東北大学病院臨床試験品質保証室)

S5 ベッドサイドの臨床薬理学 (学術委員会企画) 抄録頁 S140-S141

12月4日(水) 8:40~10:40 第5会場(京王プラザホテル 本館4F 花C)

座長: 原田 和博(笠岡第一病院内科)

志賀 剛(東京慈恵会医科大学臨床薬理学)

趣旨説明: ベッドサイドの臨床薬理学: 意義と重要性

植田 真一郎(琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

S5-1 タクロリムスの投与調整

西尾 信一郎(聖隷浜松病院総合診療内科)

山本 圭祐(聖隷浜松病院薬剤部)

S5-2 ベッドサイドの臨床薬理学: 症例2「皮膚科にて乾癬の診断・治療をうけ、異常行動、

振戦などきたした、多発性脳梗塞、前立腺癌合併高齢者症例」

原田 和博(笠岡第一病院内科)

S6 抗血栓薬と出血性有害事象 抄録頁 S142-S144

12月4日(水) 8:40~10:40 第6会場(京王プラザホテル 本館4F 花D)

座長: 古田 隆久(浜松医科大学臨床研究管理センター)

松本 直樹(聖マリアンナ医科大学医学部薬理学)

S6-1 多施設共同研究における超高齢者大腸憩室出血患者群を対象にしたDOAC内服患者像検討の試み

二神 生爾(日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科)

S6-2 Warfarinと比較したDOACの消化管出血

樋口 友洋(浜松医科大学第一内科)

S6-3 循環器内科領域からみた抗血栓薬と出血性有害事象

松本 直樹(聖マリアンナ医科大学医学部薬理学)

S6-4 抗凝固薬から展望する認知症予防: 心房細動は認知症のリスク!?

佐治 直樹(国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター)

S7 臨床薬理マインドを育成するために私たちがすべきこと 抄録頁 S144-S146

12月4日(水) 8:40~10:40 第7会場(京王プラザホテル 本館42F 富士)

座長: 藤田 朋恵(獨協医科大学薬理学講座)

柳田 俊彦(宮崎大学医学部看護学科臨床薬理)

S7-1 職種を超えた臨床薬理マインドの共有

近藤 一直(藤田医科大学医学部薬理学)

S7-2 CRCによる「臨床薬理マインド」の医療従事者への拡大

竹ノ下 祥子(昭和大学臨床薬理研究所/昭和大学病院臨床試験支援センター)

S7-3 臨床薬剤師への臨床薬理マインドの育成

内田 信也(静岡県立大学薬学部実践薬学)

S7-4 臨床薬理マインドを育む—看護師に必要な患者さんのための臨床薬理—

柳田 俊彦(宮崎大学医学部看護学科臨床薬理)

特別プログラム

S8 がん免疫薬物療法における臨床薬理学

抄録頁 S147-S149

12月4日(水) 8:40~10:40 第8会場(京王プラザホテル 本館42F 高尾)

座長:寺田 智祐(滋賀医科大学医学部附属病院)

安藤 雄一(名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

S8-1 免疫チェックポイント阻害剤における臨床薬理学の役割と課題

倉田 宝保(関西医科大学附属病院)

S8-2 免疫チェックポイント阻害薬開発における臨床薬理学的戦略

塩見 真理(MSD株式会社グローバル研究開発本部臨床薬理開発クリニカル
ファーマコキネティクス&ファーマコメトリクスグループ)

S8-3 免疫チェックポイント阻害薬のPK/PD解析

濱田 哲暢(国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野)

S8-4 免疫チェックポイント阻害薬が薬物代謝酵素に与える影響を考える

鈴木 賢一(星薬科大学実務教育研究部門)

S9 精神疾患のプレシジョンメディスン 現状と解決すべき問題

抄録頁 S150-S152

12月4日(水) 13:00~15:00 第6会場(京王プラザホテル 本館4F 花D)

座長:加藤 正樹(関西医科大学精神神経科学講座)

福田 剛史(国立成育医療研究センター)

S9-1 臨床に基づいたゲノム研究で見えてくるもの

池田 匡志(藤田医科大学医学部精神神経科学)

S9-2 ファーマコエビゲノミクスの可能性

南畝 晋平(兵庫医療大学薬学部)

S9-3 うつ病におけるプレシジョンメディスンの現状と今後

加藤 正樹(関西医科大学精神神経科学講座)

S9-4 精神科関連治療薬のプレシジョンメディスンとファーマコメトリクス

福田 剛史(国立成育医療研究センター)

S10 医薬品開発・安全対策における Real World Data の活用

抄録頁 S153-S154

12月5日(木) 15:50~17:50 第1会場(京王プラザホテル 本館5F コンコードAB)

座長:佐藤 淳子((独)医薬品医療機器総合機構国際部)

S10-1 臨床現場からの期待

中村 治雅(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター)

S10-2 製薬企業の取り組み

東郷 香苗(日本製薬工業協会医薬品評価委員会臨床評価部会/ファイザー株式会社)

S10-3 PMDAの取り組み

梶山 和浩(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

S11 臨床薬理学の知識およびファーマコメトリクスの手法がどう小児臨床のニーズに応えるか? ~第2回~

抄録頁 S155-S157

12月5日(木) 15:50~17:50 第2会場(京王プラザホテル 本館5F コンコードC)

座長: 中村 秀文(国立成育医療研究センター臨床研究センター)

福田 剛史(国立成育医療研究センター)

- S11-1 難治性脈管異常に対するシロリムス療法 医師主導治験を通じて
小関 道夫(岐阜大学医学部附属病院小児科)
- S11-2 小児腎臓領域における医師主導臨床試験
佐古 まゆみ(国立成育医療研究センター臨床試験推進室)
- S11-3 小児ファーマコメトリクスを臨床で(新生児・乳幼児を中心に)
山田 孝明(九州大学病院薬剤部)
- S11-4 小児対象治験の用法・用量設定と試験デザインにおける計量薬理学的手法の活用
—新規血友病 A 治療薬エミシズマブの例—
米山 洗一郎(中外製薬株式会社臨床薬理部臨床薬理解析グループ)
- S11-5 小児用医薬品開発における M&S 活用促進に向けた行政の取組み
渡部 辰悟(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)

S12 がんゲノム医療の実情と課題 ~いまがんゲノム医療の現場で起きていること~

(学術委員会企画)

抄録頁 S158-S160

12月5日(木) 15:50~17:50 第3会場(京王プラザホテル 本館4F 花A)

座長: 安藤 雄一(名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

金井 雅史(京都大学医学部附属病院腫瘍内科)

- S12-1 保険承認後のがん遺伝子パネル検査の現状と課題
金井 雅史(京都大学医学部附属病院腫瘍内科)
- S12-2 エキスパートパネルにおける治療選択とその課題
角南 久仁子(国立がん研究センター中央病院臨床検査科)
- S12-3 がん遺伝子パネル検査を基にした医師主導治験
中村 能章(国立がん研究センター東病院トランスレーショナルリサーチ支援室/消化管内科)
- S12-4 がんゲノム情報管理センター(C-CAT)の活動状況と課題
須藤 智久(国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター情報管理室)
- S12-5 CRCの経験を活かした他部門との調整
村崎 由佳(名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部先端医療・臨床研究支援センター)
- 指定発言: 森田 佐知(名古屋大学医学部附属病院)

S13-1 第14回日韓臨床薬理合同シンポジウム 第1部 Precision medicine

抄録頁 S161-S163

(国際交流・リエゾン委員会企画)

12月5日(木) 15:50~17:50 第4会場(京王プラザホテル 本館4F 花B)

座長: Takahisa Furuta (Center for Clinical Research, Hamamatsu University School of Medicine)

In Jin Jang (Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, Seoul National University College of Medicine, Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, and Clinical Trials Center of Seoul National University Hospital)

特別プログラム

- S13-1-1 Pharmacogenomic implementation for precision medicine
Eun-Young Kim (Department of Clinical Pharmacology, Inje University Busanpaik Hospital, Busan, Korea)
- S13-1-2 Cancer Genome Medicine : promise and problem
Hironobu Minami (Medical Oncology/Hematology Kobe University Graduate School of Medicine and Hospital, Japan)
- S13-1-3 Precision Medicine in the Clinic : The real world experience
Young Suk Park (Division of Hematology-Oncology Department of Medicine Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University Medical School, Seoul, Korea)
- S13-1-4 Pharmacogenetics in Psychiatry
Norio Furukori (Department of Psychiatry, Dokkyo Medical University School of Medicine)
指定発言 : Kazuhiko Yanai (Department of Pharmacology, Tohoku University School of Medicine)

S13-2 第14回日韓臨床薬理合同シンポジウム 第2部 AI (国際交流・リエゾン委員会企画) 抄録頁 S164-S166

12月5日(木) 18:00~20:00 第4会場(京王プラザホテル 本館4F 花B)

座長 : Naoki Matsumoto (Department of Pharmacology, St. Marianna University School of Medicine)
Min Soo Park (Department of Pediatrics, Yonsei University College of Medicine, Clinical Pharmacology of Severance Hospital)

- S13-2-1 The role of Artificial intelligence in endoscopic field
Tomohiro Tada (AI Medical Service Inc., University of Tokyo)
- S13-2-2 AI, bridge between reality and ideal in drug development
Dukyong Yoon (Department of Biomedical Informatics, Ajou University School of Medicine, Suwon, Republic of Korea)
- S13-2-3 Artificial intelligence (AI) for medical imaging
Takuya Ueda (Department of Radiology, Tohoku University Graduate School of Medicine)
- S13-2-4 JARVIS : Using RWD to Support Clinical Drug Development
Jae Yong Shim (College of Medicine, Yonsei University Health System, Seoul, Korea)
指定発言 : Masako "Mako" Nakano (Translational Medicine, Japan Development, Novartis Pharma K.K.)

S14 多併存疾患患者の薬物療法における臨床薬理 (学術委員会企画) 抄録頁 S166-S168

12月5日(木) 15:50~17:50 第5会場(京王プラザホテル 本館4F 花C)

座長 : 原田 和博 (笠岡第一病院内科)
三輪 宜一 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

趣旨説明 : 植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

- S14-1 プライマリケアの現場である離島における多併存疾患患者の薬剤管理
石坂 真梨子 (沖縄県立八重山病院附属小浜診療所/琉球大学医学研究科臨床研究教育管理学講座)
- S14-2 薬剤師から見た多併存疾患に対する薬物治療
潮平 英郎 (琉球大学医学部附属病院薬剤部)
- S14-3 合併症を有する心不全患者の薬物治療管理
鈴木 敦 (東京女子医科大学循環器内科)

- S14-4 がん薬物療法と併存疾患 腫瘍内科医の視点から
満間 綾子 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

S15 臨床薬理学専門家の育成方法

抄録頁 S169-S171

12月5日(木) 15:50~17:50 第7会場(京王プラザホテル 本館 42F 富士)

座長: 志賀 剛 (東京慈恵会医科大学臨床薬理学)

越前 宏俊 (明治薬科大学薬物治療学研究室)

- S15-1 臨床薬理学はどのような人材を育成すべきか
渡邊 裕司 (浜松医科大学臨床薬理学)
- S15-2 薬物動態学の専門家をどう育成するか
家入 一郎 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)
- S15-3 早期臨床研究への助言ができる専門家
熊谷 雄治 (北里大学医学部附属臨床研究センター/北里大学病院臨床試験センター)
- S15-4 臨床研究とCRB:現場では臨床薬理学専門家に何を必要とされているのか
今井 靖 (自治医科大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門/自治医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門)
- S15-5 臨床薬理専門医の教育プログラムをどうするか
上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学/大分大学医学部附属病院臨床薬理センター/大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター/大阪大学医学部附属病院未来医療開発部/理化学研究所創薬・医療技術基盤プログラム臨床開発支援室)

S16 炎症性腸疾患治療の新展開

抄録頁 S172-S174

12月5日(木) 15:50~17:50 第8会場(京王プラザホテル 本館 42F 高尾)

座長: 加藤 公敏 (日本大学医学部附属板橋病院臨床研究センター)

小早川 雅男 (福島県立医科大学医療研究推進センター)

- S16-1 潰瘍性大腸炎治療における基本治療薬の拡がり
高木 智久 (京都府立医科大学消化器内科)
- S16-2 潰瘍性大腸炎治療における免疫調節薬及び生物学的製剤の有用性について
山本 貴嗣 (帝京大学医学部内科学)
- S16-3 潰瘍性大腸炎の血球細胞をターゲットにした治療法 一白血球除去療法, ベドリツマブ, トファシチニブのメカニズムとその有用性について
加藤 真吾 (埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科)
- S16-4 潰瘍性大腸炎患者に対する抗菌剤併用便移植療法
石川 大 (順天堂大学消化器内科)
- S16-5 クロウン病治療の新展開
内山 幹 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

S17 認定薬剤師の科学力を考える (学術委員会企画)

抄録頁 S175-S179

12月5日(木) 18:00~20:20 第1会場(京王プラザホテル 本館 5F コンコード AB)

座長: 家入 一郎 (九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野)

本間 真人 (筑波大学附属病院薬剤部)

- S17-1 一般病院の薬剤師でも、観察力があれば科学はできる
中山 裕一 (NTT 東日本関東病院)

特別プログラム

- S17-2 薬学教育における臨床薬理学
細畑 圭子 (大阪薬科大学臨床薬学教育研究センター)
- S17-3 基礎研究と医療ビッグデータ解析を融合させたドラッグ・リポジショニングへの試み
堀ノ内 裕也 (徳島大学大学院医歯薬学研究部薬理学)
- S17-4 臨床における認定薬剤師の持ち味と薬物療法への関わり ～他学会認定薬剤師との比較を含めて～
柴田 啓智 (済生会熊本病院薬剤部)
- S17-5 がんゲノム医療における薬剤師の関与
坂口 裕美 (九州大学病院薬剤部)
- S17-6 薬学出身の臨床薬理学者としてのアイデンティティを求めて：日米の経験を踏まえて
福田 剛史 (国立成育医療研究センター)
- S17-7 薬物療法の実務における科学の必要性 —指導薬剤師に求められる役割を考える
柴山 良彦 (北海道医療大学薬学部薬剤学 (製剤学))
- S17-8 臨床薬理専門医からみた認定薬剤師に必要な科学力
肥田 典子 (昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門／昭和大学臨床薬理研究所／昭和大学統括研究推進センター)

S18 臨床におけるバイオシミラーの利用促進に向けた現状と課題

抄録頁 S180-S182

12月5日(木) 18:00~20:00 第2会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードC)

座長：石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)
米澤 淳 (京都大学大学院薬学研究科／京都大学医学部附属病院薬剤部)

- S18-1 バイオシミラーの同等性／同質性評価に関する現状と課題
石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)
- S18-2 がん領域におけるバイオシミラーの課題と期待
飯田 真介 (名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学分野)
- S18-3 薬学的視点に基づくバイオシミラーの利用促進に向けた現状と課題
米澤 淳 (京都大学大学院薬学研究科／京都大学医学部附属病院薬剤部)
- S18-4 バイオシミラーの臨床試験・市販後に関する規制と臨床研究動向
斎藤 嘉朗 (国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部)

S19 生命倫理審査と臨床薬理学

抄録頁 S182-S185

12月6日(金) 8:30~10:30 第1会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードAB)

座長：安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)
飯島 祥彦 (名古屋大学医学部附属病院)

- S19-1 生命倫理審査における臨床薬理の専門性 ～実施側として審査を受けた経験も踏まえて～
今村 知世 (昭和大学先端がん治療研究所)
- S19-2 生命倫理審査における臨床薬理の専門性 —研究申請及び審査を経験して学んだこと—
島添 隆雄 (九州大学大学院薬学研究院臨床育薬学)
- S19-3 薬剤師・薬学から臨床薬理にかかわってきた立場で
稲野 彰洋 (福島県立医科大学附属病院臨床研究センター)
- S19-4 生命倫理審査における臨床薬理の専門性：精神・神経医療研究領域での経験を踏まえて
永井 尚美 (武蔵野大学薬学部レギュラトリーサイエンス)

- S19-5 臨床研究法における臨床薬理学の専門性
濱田 哲暢 (国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野)
指定発言：飯島 祥彦 (名古屋大学医学部附属病院)

S20 アカデミア創薬・育薬における臨床薬理学の役割

抄録頁 S186-S188

12月6日(金) 8:30~10:30 第2会場 (京王プラザホテル 本館5F コンコードC)

座長：大戸 茂弘 (九州大学大学院薬学研究院薬剤学)
上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学講座)

- S20-1 人材育成を可能とする大分大学医薬品開発クラスターにおける臨床薬理学の役割
上村 尚人 (大分大学医学部臨床薬理学／大分大学医学部附属病院臨床薬理センター／
大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター)
- S20-2 アカデミア創薬におけるAMEDの取り組みとBINDS事業の現状と展望
善光 龍哉 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構戦略推進部医薬品研究課)
- S20-3 アカデミア創薬と臨床試験
野中 美和 (北里大学病院臨床研究部)
- S20-4 アカデミア創薬・育薬の課題と展望
大戸 茂弘 (九州大学大学院薬学研究院薬剤学)

S21 アカデミア発の医薬品等の開発において、AROで何が可能か (学術委員会企画)

抄録頁 S188-S190

12月6日(金) 8:30~10:30 第4会場 (京王プラザホテル 本館4F 花B)

座長：花岡 英紀 (千葉大学医学部附属病院臨床試験部)
植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

- S21-1 医師主導治験のハードルは下がったか？ KAICA trial より
濱田 洋通 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- S21-2 非拠点における医薬品開発 Prmatic trial とリアルワールドデータ
植田 真一郎 (琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)
- S21-3 臨床研究に関わる支援人材の育成とキャリアパス
花岡 英紀 (千葉大学医学部附属病院臨床試験部)
- S21-4 行政の視点から、アカデミア発シーズの開発へ期待すること
森 和彦 (厚生労働省)

S22 再生医療・細胞治療の評価方法と今後の展開 (学術委員会企画)

抄録頁 S191-S193

12月6日(金) 8:30~10:30 第5会場 (京王プラザホテル 本館4F 花C)

座長：松本 直樹 (聖マリアンナ医科大学医学部薬理学)
松山 晃文 (藤田医科大学医学部再生医療学講座)

- S22-1 臨床薬理学からみた治療方法の評価 (オーバービュー)
松本 直樹 (聖マリアンナ医科大学医学部薬理学)
- S22-2 細胞シートを用いた再生医療と創薬モデルの現状と新展開
清水 達也 (東京女子医科大学先端生命医学研究所)
- S22-3 再生医療等製品の不均一性と品質管理
加畑 馨 (北海道大学病院臨床研究開発センター)

特別プログラム

S22-4 再生医療・細胞治療と臨床薬理の今後の展開 —Real World Data/Evidence の視点から
松山 晃文 (藤田医科大学医学部再生医療学講座)

S23 看護師に必要とされる実践的与薬学とは

抄録頁 S194-S196

12月6日(金) 8:30~10:30 第6会場(京王プラザホテル 本館 4F 花D)

座長: 柳田 俊彦 (宮崎大学医学部看護学科臨床薬理)

笹栗 俊之 (九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野)

S23-1 看護学教育の動向と課題 ~看護学教育モデル・コア・カリキュラムと指定規則~
杉田 由加里 (文部科学省高等教育局医学教育課)

S23-2 臨地実習における看護初学者の体験

斉藤 しのぶ (千葉大学大学院看護学研究科)

S23-3 看護実践能力の向上をめざした臨床薬理学教育の検討

松田 明子 (奈良県立医科大学医学部看護学科)

S23-4 臨床薬理を看護に活かす —iDrug と与薬のしおり—

柳田 俊彦 (宮崎大学医学部看護学科臨床薬理)

S24 基礎からのトランスレーショナルサイエンス-2

肝毒性における非臨床と臨床の知見の融合と将来展望

抄録頁 S196-S198

12月6日(金) 8:30~10:30 第7会場(京王プラザホテル 本館 42F 富士)

座長: 岩崎 甫 (山梨大学先端応用医学講座)

斎藤 嘉朗 (国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部)

S24-1 ヒト薬物性肝障害予測を志向した非臨床研究

横井 毅 (名古屋大学医学研究科トキシコゲノミクス研究室)

S24-2 ヒト iPS 細胞由来肝細胞を用いた次世代肝毒性評価系の開発

水口 裕之 (大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野/大阪大学国際医工情報センター/
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

S24-3 肝障害におけるバイオマーカー利用

熊谷 雄治 (北里大学医学部附属臨床研究センター/北里大学病院臨床試験センター)

S24-4 実臨床における薬物性肝障害の実態

加川 建弘 (東海大学医学部消化器内科)

S25 血液がん治療薬・支持療法薬の新たな進歩

抄録頁 S199-S201

12月6日(金) 8:30~10:30 第8会場(京王プラザホテル 本館 42F 高尾)

座長: 山内 高弘 (福井大学血液・腫瘍内科)

満間 綾子 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

S25-1 急性骨髄性白血病および骨髄異形成症候群に対する治療薬の進歩

細野 奈穂子 (福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科)

S25-2 血液がんの治療薬・支持療法薬の新たな進歩: 小児血液がん

多賀 崇 (滋賀医科大学小児科)

S25-3 多発性骨髄腫治療の進歩と今後の展望

安井 寛 (東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科/東京大学医科学研究所
先端ゲノム医療の基盤研究寄付研究部門)

- S25-4 免疫学から見たモガムリズマブ（抗 CCR4 抗体薬）の薬理作用
 嬉野 博志（佐賀大学医学部血液腫瘍内科）
- S25-5 がん性疼痛に対する治療薬・支持療法薬
 内藤 隆文（浜松医科大学医学部附属病院薬剤部）

S26 新規安全性バイオマーカー開発の現状と医薬品開発への応用

抄録頁 S202-S204

12月6日（金）13：40～15：40 第1会場（京王プラザホテル 本館5F コンコード AB）

座長：斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）
 熊谷 雄治（北里大学医学部附属臨床研究センター）

- S26-1 副作用回避を目的とした遺伝子検査の社会実装
 蓮田 泰誠（理化学研究所生命医科学研究センター）
- S26-2 薬剤性過敏症候群のバイオマーカー ～血清 TARC 値の有用性について～
 浅田 秀夫（奈良県立医科大学皮膚科学）
- S26-3 日本人における薬物肝障害バイオマーカー候補の検証
 荒川 憲昭（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）
- S26-4 バイオマーカーの適格性確認に関する国際規制動向と日本の取り組み
 斎藤 嘉朗（国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部）

S27 現代の不眠と睡眠薬の適正使用

抄録頁 S204-S206

12月6日（金）13：40～15：40 第2会場（京王プラザホテル 本館5F コンコード C）

座長：下田 和孝（獨協医科大学精神神経医学講座）
 加藤 正樹（関西医科大学精神神経科学講座）

- S27-1 現代の不眠と睡眠薬の適正使用：総論
 三島 和夫（秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座）
- S27-2 睡眠薬適正使用ガイドラインの観点から考える不眠症治療
 高江洲 義和（杏林大学医学部精神神経科学教室）
- S27-3 睡眠薬の適正使用：副作用の観点から
 守田 彩文（医療法人社団陣内会陣内病院）
- S27-4 ベンゾジアゼピン系薬物服用中の精神疾患患者と主治医の態度
 古郡 規雄（獨協医科大学精神神経医学講座）

S28 臨床研究倫理 30 年の歩み：平成が令和に残した課題とは（学術委員会企画）

抄録頁 S207-S209

12月6日（金）13：40～15：40 第3会場（京王プラザホテル 本館4F 花 A）

座長：笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）
 森下 典子（国立病院機構本部総合研究センター治験研究部治験推進室）

- S28-1 オーバービュー：30年の歩みをどう見るか？
 稲野 彰洋（福島県立医科大学附属病院臨床研究センター）
- S28-2 残された課題：研究者の視点
 前田 実花（北里大学病院 HRP（Human Research Protections）室／薬剤部）
- S28-3 残された課題：被験者・患者の視点 ～臨床研究の民主化に向けて～
 桜井 なおみ（一般社団法人 CSR プロジェクト／キャンサーソリューションズ株式会社）

特別プログラム

- S28-4 被験者保護という目的は、はたして達成されたのか
 笹栗 俊之（九州大学大学院医学研究院生体情報科学講座臨床薬理学分野）

S29 臓器間ネットワーク制御：異種細胞組織構築モデルから病態生理へ
 （学術委員会企画・日本薬理学会との共催プログラム）

抄録頁 S210-S212

12月6日（金）13：40～15：40 第4会場（京王プラザホテル 本館4F 花B）

座長：安西 尚彦（千葉大学大学院医学研究院薬理学）
 楠原 洋之（東京大学大学院薬学系研究科）

- S29-1 臓器連関とその評価系開発の必要性：腎臓生理学の視点から
 安西 尚彦（千葉大学大学院医学研究院薬理学）
- S29-2 生理学性を向上させた新たな細胞アッセイ系の構築に向けて
 酒井 康行（東京大学大学院工学系研究科）
- S29-3 Organs-on-a-chip を利用した薬物動態における臓器間相互作用の理解
 加藤 将夫（金沢大学薬学系分子薬物治療学）
- S29-4 心臓恒常性の神経・免疫・代謝システム連携による制御と病態
 真鍋 一郎（千葉大学大学院医学系研究院長寿医学）
- S29-5 視床下部による肝糖産生の調節とその異常
 井上 啓（金沢大学新学術創成研究機構）

S30 臨床薬理専門医は一体何をすべき人なのか（学術委員会企画）

抄録頁 S213-S216

12月6日（金）13：40～15：40 第5会場（京王プラザホテル 本館4F 花C）

座長：植田 真一郎（琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座）
 真田 昌爾（大阪市立大学医学部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター）

- S30-1 専門医制度の現状について
 佐々木 健（厚生労働省医政局医事課）
- S30-2 海外の臨床薬理専門医制度はどうなっているのか
 曳野 圭子（理化学研究所生命医科学研究センターファーマコゲノミクス研究チーム）
- S30-3 医学教育における臨床薬理
 植田 真一郎（琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座）
- S30-4 早期臨床開発における役割：現場で働くひとりとして考えること
 上村 尚人（大分大学医学部臨床薬理学／大分大学医学部附属病院臨床薬理センター／
 大分大学医学部附属病院総合臨床研究センター）
- S30-5 考えられる特定の職能（4）新しい医療の評価：研究開発計画支援担当者
 真田 昌爾（大阪市立大学医薬部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター）
- S30-6 臨床薬理専門医：治療の場での役割
 藤尾 慈（大阪大学薬学研究科臨床薬効解析学分野／大阪大学医学系研究科循環器内科学）

S31 臨床薬理分野でのPBPKモデルの有効活用 ～具体例を通して学ぶ～

抄録頁 S216-S218

12月6日（金）13：40～15：40 第6会場（京王プラザホテル 本館4F 花D）

座長：福田 剛史（国立成育医療研究センター）
 中村 己貴子（中外製薬株式会社）

- S31-1 生理学的薬物速度論モデルを用いたバーチャル生物学的同等性試験
土岐 浩介 (筑波大学医学医療系臨床薬剤学)
- S31-2 日本での医薬品開発における生理学的薬物速度論モデルの有効活用
松本 有毅 (MSD 株式会社グローバル研究開発本部)
- S31-3 PBPK モデルの小児集団への活用 ~Knowledge gaps と next challenges~
江本 千恵 (シンシナティ小児病院医療センター臨床薬理部門/シンシナティ大学
医学部小児学)
- S31-4 PBPK モデル解析に関する承認審査の現状と PMDA の取り組み
木島 慎一 (医薬品医療機器総合機構次世代評価手法推進部)

S32 多領域で使われている生物学的製剤 (バイオ医薬品) の現状と将来展望

抄録頁 S219-S221

12月6日 (金) 13:40~15:40 第7会場 (京王プラザホテル 本館 42F 富士)

座長: 川合 眞一 (東邦大学医学部炎症・疼痛制御学講座)
安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

- S32-1 リウマチ膠原病領域における生物学的製剤使用の現状と課題
松井 利浩 (国立病院機構相模原病院リウマチ科)
- S32-2 炎症性腸疾患における生物学的製剤の現状と将来展望
松岡 克善 (東邦大医療センター佐倉病院消化器内科)
- S32-3 皮膚科領域で使われている生物学的製剤の現状と課題 ~乾癬を中心に~
大久保 ゆかり (東京医科大学皮膚科学分野)
- S32-4 多領域で使われている生物学的製剤 (バイオ医薬品) の現状と将来展望: 悪性腫瘍領域
安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院化学療法部)
- S32-5 バイオ医薬品の安全性 ~抗薬物抗体を中心に~
石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部)

S33 がん免疫療法の最近の動向とマネイジメント

抄録頁 S222-S225

12月6日 (金) 13:40~15:40 第8会場 (京王プラザホテル 本館 42F 高尾)

座長: 増田 智先 (国際医療福祉大学薬学部・成田病院)
前田 章光 (愛知県がんセンター薬剤部)

- S33-1 がん免疫療法の基礎研究
北野 滋久 (がん研究会有明病院先端医療開発センターがん免疫治療開発部)
- S33-2 免疫チェック阻害剤の審査について
清原 宏真 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)
- S33-3 免疫チェックポイント阻害薬の開発
川上 智久 (中外製薬株式会社臨床開発企画部)
- S33-4 免疫チェックポイント阻害薬の治験支援
工藤 千穂 (愛知県がんセンター臨床試験部臨床試験室)
- S33-5 泌尿器癌の薬物療法の歴史と ICI の役割, チーム医療
江藤 正俊 (九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野)
- S33-6 チーム ICI による irAE に対する対策の確立および集積結果の分析
渡邊 裕之 (九州大学病院薬剤部)

特別プログラム

MWS ミニワークショップ

MWS1 第3回臨床薬理学集中講座 フォローアップ・セミナー

抄録頁 S226-S228

12月4日(水) 13:00~15:00 第7会場(京王プラザホテル 本館 42F 富士)

モデレーター:

乾 直輝(浜松医科大学臨床薬理学講座)

パネリスト:

朝田 瑞穂(東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部)

中川 朋子(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院代謝・内分泌内科/聖マリアンナ医科大学
代謝・内分泌内科)

座間味 義人(徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野)

鈴木 啓介(国立長寿医療研究センター治験・臨床研究推進センター)

武智 研志(徳島大学病院臨床試験管理センター)

肥田 典子(昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門)

MWS1-1 臨床薬理学集中講座を経て —臨床現場に従事する薬剤師の視点から—

朝田 瑞穂(東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部)

MWS1-2 臨床薬理研究の領域・種類や進め方などの経験談の紹介 医師の視点から

中川 朋子(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院代謝・内分泌内科/聖マリアンナ医科大学
代謝・内分泌内科)

MWS1-3 臨床薬理共同研究推進体制の構築に関する取り組み

武智 研志(徳島大学病院臨床試験管理センター)

MWS2 日本臨床薬理学会 臨床研究セミナー&ワークショップ

抄録頁 S229

12月4日(水) 13:00~15:00 第8会場(京王プラザホテル 本館 42F 高尾)

座長: 志賀 剛(東京慈恵会医科大学臨床薬理学)

植田 真一郎(琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)

ファシリテーター:

真田 昌爾(大阪市立大学医学部附属病院臨床研究・イノベーション推進センター)

安藤 雄一(名古屋大学医学部附属病院化学療法部)

池原 由美(琉球大学附属病院)

WS ワークショップ

WS 知っておきたい頻用薬の気づきにくい副作用

抄録頁 S230

12月4日(水) 13:00~15:00 第5会場(京王プラザホテル 本館 4F 花C)

座長: 志水 太郎(獨協医科大学総合診療医学・総合診療科)

演者: 原田 拓(昭和大学病院総合診療科)

原田 侑典(獨協医科大学総合診療医学・総合診療科)